

授業科目の区分等：教職に関する科目

開講期間	配当年	単位数	科目必選区分
半期	3年	2	選択
担当教員			
下山 寿子			
C (商学部)	T (教職科目)	ED (教育)	

授業のねらい (概要)	<p>下山寿子 (単独) 道徳・総合的な学習の時間等の指導法及び生徒指導、教育相談等に関する科目 特別活動の指導法 (1) 講義及び課題についてのグループ協議・演習・ディスカッション・発表等により授業を進める。 (2) 特別活動に関する基礎的な理論を身に付け、その指導法と技術を習得することを目的とする。 [テーマ] 「学校教育のなかで望ましい集団活動とはどうあったらよいか」</p>
授業計画	<p>第1回 【遠隔】 オリエンテーション／授業目標・進め方・シラバス説明・成績評価の方法 予習 (時間) : シラバス熟読 (120) 復習 (時間) : 本科目の内容を確認 (120)</p> <p>第2回 【遠隔】 特別活動とは何か (1) / 特別活動の成立と展開 予習 (時間) : 学習指導要領第1章熟読 (120) 復習 (時間) : 学習内容をまとめる (120)</p> <p>第3回 【遠隔】 特別活動とは何か (2) / 学習指導要領の変遷と学習指導要領上の位置づけ 予習 (時間) : 配付資料熟読 (120) 復習 (時間) : 学習内容をまとめる (120)</p> <p>第4回 【遠隔】 特別活動とは何か (3) / 特別活動の指導計画の作成と評価・道徳・特別活動・「総学」との関連 予習 (時間) : 学習指導要領1・2章熟読 (120) 復習 (時間) : 学習内容をまとめる (120)</p> <p>第5回 ホームルーム活動の指導法 (1) / 意義と諸問題・生徒指導との関連と指導法 予習 (時間) : 学習指導要領第3章・第1節熟読 (120) 復習 (時間) : 学習内容をまとめる (120)</p> <p>第6回 ホームルーム活動の指導法 (2) / エンカウンターを導入した実践 予習 (時間) : 配付資料熟読 (120) 復習 (時間) : 学習内容をまとめる (120)</p> <p>第7回 【課題】 ホームルーム活動の指導法 (3) / 教育実践の紹介と検討 予習 (時間) : 配付資料熟読 (120) 復習 (時間) : 学習内容をまとめる (120)</p> <p>第8回 生徒会活動の指導法 (1) / 生徒会活動の意義と諸問題 予習 (時間) : 学習指導要領第3章・第2節熟読 (120) 復習 (時間) : 学習内容をまとめる (120)</p> <p>第9回 生徒会活動の指導法 (2) 教育実践の紹介と検討 予習 (時間) : 配付資料熟読 (120) 復習 (時間) : 学習内容をまとめる (120)</p> <p>第10回 【課題】 学校行事の指導法 (1) / 学校行事の意義と諸問題 予習 (時間) : 学習指導要領第3章・第3節熟読 (120) 復習 (時間) : 学習内容をまとめる (120)</p> <p>第11回 学校行事の指導法 (2) / 教育実践の紹介と検討 予習 (時間) : 配付資料熟読 (120) 復習 (時間) : 教科書第5章熟読 (120) 復習 (時間) : 学習内容をまとめる (120)</p> <p>第12回 部活動指導の指導法 予習 (時間) : 配付資料熟読 (120) 復習 (時間) : 学習内容をまとめる (120)</p> <p>第13回 【課題】 ボランティア活動の指導法 予習 (時間) : 配付資料熟読 (120) 復習 (時間) : 学習内容をまとめる (120)</p> <p>第14回 特別活動の評価と指導要録への記入 予習 (時間) : 学習指導要領第4章熟読 (120) 復習 (時間) : 学習内容をまとめる (120)</p> <p>第15回 全体のまとめ/特別活動の今日的課題と動向について 予習 (時間) : 学習の総復習 (120) 復習 (時間) : 学習指導要領書1章及び配付資料熟読 (120) 復習 (時間) : レポートの作成 (210)</p>
授業を通して身に付けることができる能力 (DP)	<p>商学部 1. 職業人的倫理観を持ち、組織で協働できる能力 3. 専門的分野の学びを、実務や社会で応用できる能力</p>
到達目標	<p>(1) 学習指導要領における特別活動の位置づけとその内容を理解し、概要及び要点を説明できる。(2) ホームルーム活動・生徒会活動・学校行事の目標と内容と指導法を理解し、概要及び要点を説明できる。(3) 年間計画を立案し学習指導案の作成の方法を理解し、概要及び要点を説明できる。(4) 特別活動のあり方について自分なりの考えを持つことができる。</p>

課題や小テスト等のフィードバックの方法	提出課題等については、添削等行い指導・助言し必要に応じて返却する。
履修上の注意	<ul style="list-style-type: none"> ・基本的には講義形式を中心とするが、テーマにおいてはグループ学習などを導入する場合もある。 ・プリント教材を多く用いるので当該科目独自のファイルを作成すること。
成績評価の方法・基準	具体的な到達目標にあげた項目を身につけたかどうか試験やレポートを通じて確認する。また最後のまとめにかかわる試験あるいはレポートを作成し総合評価を行う。最終レポート(定期試験として)80%、期間内に小テスト・授業内レポート5%、宿題・授業外レポート15%。
教科書	書名：高等学校学習指導要領（平成30年告示）解説 特別活動編 著者名：文部科学省 価格：990円
参考書・教材	【教材】各年度の「検証・教育実習」と「省察集」を常に携帯すること。
備考	<p>講義科目／実務家教員による授業</p> <p>2020年度は、7、10、13回を課題研究として学修する。第7回「よりよいHR指導の在り方とは何か」、第10回「よりよい生徒会活動指導の在り方とは何か」、第13回「よりよい学校行事指導の在り方とは何か」についてそれぞれ具体的なテーマを設定し、資料等を調査し文章を作成し、レポート形式で提出すること。800～1200字程度をめどとする。第7、10、13回のそれぞれにおいて、全体で330分の学修を想定している。</p> <p>「定期試験」は「最終レポート」である。実施方法の詳細と評価規準は第1回授業において概要を授業等において告知する。</p>
教員との連絡方法	オフィスアワー